いざという時に備える防災BOOK

災害に備える

私たちの住む町の危険個所を事前に確認しておきましょう。

佐賀県三養基郡 みやき町

防災01 風水害時の避難について

風水害の発生に備えて、事前に浸水被害への対策を行いましょう。避難が必要な場合は、原則として安全な場所に移動する立ち退き避難を行ってください。

風水害への備え　天候が悪くなる前に準備を完了しましょう。

■家屋の浸水防止対策

排水口に水のうを置き、逆流を防止する。
証書類や持ち運べる家財などを屋内の高い場所や上階に移動する。

■ライフラインの停止に備える

ライフラインの停止に備え、数日分の備蓄を行う。
備蓄品は、食料（火や水を使わずに食べられるもの）や簡易トイレなど。

風水害時の非常持ち出し　すぐに持ち出せるように準備しておきましょう。

■ないと困るもの

■あると便利なもの

立ち退き避難の注意点　洪水や土砂災害が発生する前に避難を完了しましょう。

警戒レベル2～

■早期に立ち退き避難開始

不安や危険を感じたら、避難情報の発令を待たずに安全な知人宅やホテルに避難を始める。

警戒レベル3～

■飛来物に注意

気象状況が悪化して徒歩による避難が困難になるのはもとより、風でものが飛んでくる可能性が高い大変危険。

警戒レベル3～

■徒歩避難は足元に注意

浸水が始まると「足をすくわれる」「深みにはまる」などの危険がある。
杖や棒などで足元と水の中の障害物などを確認しながら歩く。

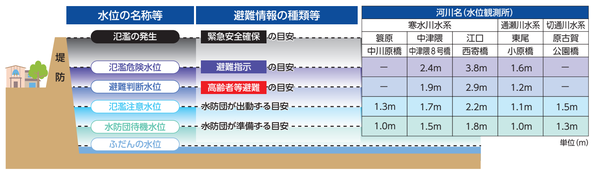
警戒レベル3～

■車両による避難

交通規制や渋滞などにより、身動きがとれなくなる可能性がある。
車両の使用は高齢者の搬送などを優先する。

この地域は低平地が多いため、道路冠水が珍しくありません。道路冠水時にはクリーク（小川）や河川の境界が分からなくなる可能性があります。道路が冠水している場合、避難する際は、注意して下さい。

河川の水位情報



水位の名称等	避難情報の種類等	河川名（水位観測所） 寒水川水系 簑原 中川原橋	寒水川水系 中津隈 中津隈8号橋	寒水川水系 江口 西寄橋	遠瀬川水系 東尾 小原橋	切通川水系 原古賀 公園橋
氾濫危険水位	避難指示 の目安	—	2.4m	3.8m	1.6m	—
避難判断水位	高齢者等避難 の目安	—	1.9m	2.9m	1.2m	—
氾濫注意水位	水防団が出動する目安	1.3m	1.7m	2.2m	1.1m	1.5m
水防団待機水位	水防団が準備する目安	1.0m	1.5m	1.8m	1.0m	1.3m

単位（m）

防災02 土砂災害の種類

土砂災害は、すさまじい破壊力を持つ土砂が、一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪ってしまう恐ろしい災害です。土砂災害から身を守るために、ハザードマップで自分が住んでいる場所の周辺で土砂災害発生の可能性がある場所を確認しましょう。

急傾斜地の崩壊

- 雨で地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、斜面が突然崩れ落ちる。
- 前ぶれもなく突然起こることが多く、スピードも速いため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人が多く死者の割合も高くなる。
- 地震が原因で起きることもある。

土石流

- 大量の土・石・砂などが集中豪雨などの大量の水と混じりあって、津波のように出てくる。
- 流れの先端部に大きな石があることが多いため、破壊力も大きくスピードも速いので悲惨な被害を及ぼす。

地すべり

- 粘土などのすべりやすい層を境に、その地面がそっくりズルズル動き出す。
- 地割れて田畑や家が壊されたり、押し出された土砂や地面の移動のために、道路や建物が広い範囲で被害を受ける。

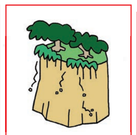
土砂災害警戒区域　土砂災害が発生するおそれがあり、発生した場合、住民に危害が生じるおそれがある区域。

土砂災害特別警戒区域　土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域。

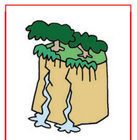
⚠このような現象があったら要注意

突発的に発生する土砂災害は、その発生を正確に予測することは困難ですが、いくつかの特徴的な前兆現象があります。以下のような前兆現象に気づいたら、少しでも安全な場所へ早めに避難してください。

- 山鳴りや、立木の裂ける音、石のぶつかりあう音が聞こえる。
- 雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。
- 川の水が急に濁ったり、流木が混ざりはじめる。



- がけからの水が濁る。
- がけに亀裂が入る。
- 小石がパラパラ落ちてくる。



- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が吹き出す。

土石流からの避難

土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げましょう。

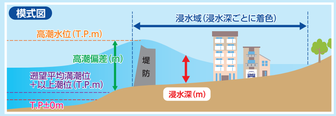
令和7年2月、「山田水辺公園」の駐車場に土砂災害警戒区域等を明示した看板が設置されました。この看板は、一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構で実施している「土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等を明示した看板の整備事業」により設置されたもので、中原校区の山田地区周辺の土砂災害の危険箇所や避難所などを表示しています。周辺にお住まいの皆様におかれましては、危険箇所の把握や有事の際の安全確保につなげるための参考としてご活用くださるようお願いします。

防災03 高潮について

高潮浸水想定の前提条件

- 水防法の規定により想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域と浸水の深さを示しています。
- 最悪の事態を想定し、中心気圧は日本に上陸した既往最大台風である「室戸台風（昭和9年）：910hPa」、移動速度は「伊勢湾台風（昭和34年）：時速73km」により、県内各地区に大きな影響を与える複数の経路を設定し、堤防・水門等は設計条件に達した段階で決壊するものとしています。
- 複数の高潮浸水シミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深を抽出し、示しています。
- 現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。

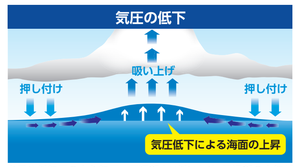
模式図



高潮のメカニズム

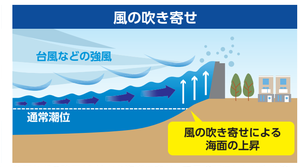
高潮とは台風や発達した低気圧によって、海岸付近で海面が異常に高くなる現象です。高潮発生の主な要因としては、以下の２つがあります。

気圧の低下



台風や低気圧の中心気圧は周辺部より低いため、周辺部の大気が海面を押し下げ、また、中心付近の大気が海面を吸い上げるように作用することにより海面が上昇します。

風の吹き寄せ

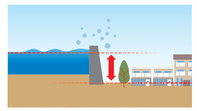


台風などの強風が、沖から海岸に向かって長時間にわたり吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられて海岸付近の海面が異常に上昇します。

大潮期の満潮と高潮のピークが重なると、海面が上昇しやすくなり危険です。また、大雨により河川の水位が上昇している場合、河口付近ではさらに水位が高くなるおそれがあります。

高潮の被害を受けやすい、注意する場所

海岸近くの低地

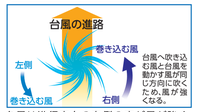


満潮時の平均的な海面の高さよりも低い海岸近くの土地は、浸水被害を受ける可能性があります。

湾奥や遠浅海岸

湾奥や水深が浅いところでは、吹き寄せられた海水が集まり、水位が上昇しやすくなります。

台風の進路との関係



台風は進行方向の右側の方が風が強く、高潮が発生する可能性が高くなります。

防災04 マイ・タイムライン

「わが家のマイ・タイムライン」に行動を書き込み、事前に考えておきましょう。

いつ（危険度 高）	誰が	何をする?
大雨が予測されるとき 警戒レベル1 早期注意情報	例）おとうさんが	家族全員の予定を確認する
警戒レベル2 洪水注意報 大雨注意報	例）おかあさんが	非常持出品の準備をする
警戒レベル3 危険な場所から高齢者等避難 その他の方は避難準備	例）おとうさんが	おばあちゃんを●●避難所に連れて行く
警戒レベル4 危険な場所から全員避難	例）家族全員が	●●避難所に避難する
警戒レベル5 災害発生情報 命を守る最善の行動		

我が家の連絡先

氏　名	電話番号・メールアドレス	会社・学校	血液型

避難先1
避難先2
避難先3

連絡方法	メ　モ

佐賀県三養基郡 みやき町 Miyaki-Town

【開庁時間】8時30分～17時15分（月～金曜日）水曜日の延長窓口は19時00分まで
土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は閉庁します。

みやき町庁舎・防災センター
〒849-0113
佐賀県三養基郡みやき町大字東尾737-5
TEL 0942-89-1651（代表）

中原庁舎
〒849-0101
佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀1043
TEL 0942-94-5721（代表）

三根庁舎
〒840-1192
佐賀県三養基郡みやき町大字市武1381
TEL 0942-96-5531（代表）

情報の収集先

- みやき町公式 LINE　防災情報をはじめとした「町の情報」が身近になりました
- 佐賀県防災ネット あんあん
- 防災行政無線応答サービス　放送内容を電話で確認できます。　0120-89-1651
- 佐賀県防災・減災さが

防災05 警戒レベル

新しい防災気象情報（R8出水期から運用開始予定）

	河川氾濫（1級河川などの大河川の氾濫）	大雨（低地の浸水や大河川以外の氾濫）	土砂災害（急傾斜地のがけ崩れや土石流）	高潮（海水面の上昇や波の打上げによる浸水）	（警戒レベルごとの）住民がとるべき行動
5	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!＞					
4	レベル4 氾濫危険情報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
3	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
1	早期注意情報				災害への心構えを高める

キキクルの紫は警戒レベル4相当!（危険度分布）自ら避難の判断を!

気象庁では、大雨による洪水等の危険度をキキクル（危険度分布）のホームページで気象情報と同じ色分けで掲載しています。いざというときに利用すべき情報の種類を確認し、避難の判断に活用しましょう。

国土交通省

「川の防災情報」ホームページ

筑後川河川事務所 筑後川・矢部川に関する防災ポータルサイト

内閣府

警戒レベルに関する動画資料（21分11秒）

防災06 自主防災組織、防災訓練について

洪水や、地震などの大きな災害が発生した場合、交通網の寸断や二次災害の発生などにより防災機関が十分に対応できない場合があります。そこで災害発生時は、住民の皆様でお互いに助け合うことが大切です。

自主防災組織について

みやき町には自主防災組織があり、みやき町及び他の関係機関と協力し、平常時及び災害時に様々な活動をしています。

平常時の活動

❶防災知識の普及
- 防災マップの作成
- 防災学習会、研修会等の開催など

❷防災訓練の実施
- 情報の収集、伝達訓練
- 消火訓練
- 避難訓練
- 救出、救護訓練
- 炊き出し訓練など

❸地域内の安全点検
- 危険箇所の確認
- 燃えやすいものの放置状況確認
- 倒れやすいものの点検など

❹防災資材の整備・点検
- 消火器、ヘルメット、ハンマー等の作業用具管理
- 非常食品、救急医療薬等の管理
- 防災資材等の整備、点検

災害時の活動

❶情報収集・伝達
町などと協力し、災害に関する正しい情報を住民に伝達する

❷初期消火活動
出火防止のための活動や消火器、消防水利の確保、バケツリレーなどによる初期消火活動

❸救出救護活動
負傷者への応急手当、救護所への搬送など

❹避難誘導
地域住民や安否確認、避難所への誘導、避難時に助けが必要な方の援助など

❺食料・物資関係
町の給水、炊き出し、救援物資配布など

防災訓練

みやき町では、防災力の向上を図るため定期的に防災訓練を実施しています。

みやき町防災重点ため池

みやき町にある28個ある防災重点ため池のうち8個のため池について佐賀県が浸水想定区域図を作成しました。

防災重点ため池マップ

防災重点ため池浸水想定区域

災害事例　広島県では・・・
平成30年7月豪雨では、西日本の2府4県で32か所のため池が決壊しました。特に広島県では、ため池上部のグラウンドの崩壊による土砂流入によってため池が決壊し、死者1名、負傷者4名の被害がでました。

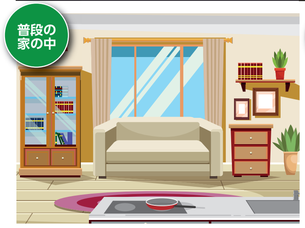
防災07 マグニチュードと震度

マグニチュードとは地震そのものの大きさ（規模）を表す「ものさし」です。

震度とはある大きさの地震が起きた時の私たちが生活している場所での揺れの強さを表します。

例えばマグニチュードの小さい地震でも震源からの距離が近いと地面は大きく揺れ震度は大きくなります。

地震が発生したら



どの程度の揺れでどのような被害が発生するの?

地震の揺れは、震度で表現されることが多いです。この震度と被害は一般的に以下のような関係にあると言われています。

地震の揺れと被害想定

震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
ほとんどの人が驚く。食器などは音をたて、置物が倒れる。	大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。食器類が落ちる。	歩くことが難しい。固定されていない家具や補強されていないブロック塀が崩れることがある。	立っていることが困難。耐震性の低い木造建物には倒壊や損壊するものがでてくる。	はわないと動くことができない。耐震性の低い建物では倒壊するものが多い。	耐震性の高い建物でもまれに傾くことがあり、耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では倒れるものが多くなる。

通電火災は一度停電し電力が復旧した後に起こります。そのため注意が必要な場所は以下のようになります。

- ●ブレーカー周辺（特に水害後）
- ●大きな家具が転倒していた場所（電源コードの状態チェック）
- ●使用中だった電気ストーブやアイロン、こたつ周辺

大きな家具が転倒すると電源コードだけではなく、家電そのものが損傷していることがあります。見た目ではわからなくても内部回路が損傷していると、それが原因でショートにより発火する可能性もあり、しばらく使用して様子をみるなどの対策が必要です。

地震が発生した際、通電火災に注意

動画資料：内閣府（2分59秒）

地震時の通電火災にご注意